

一般社団法人日本循環器学会主催

第4回 臨床研究デザインと 統計解析合宿

日程 2018年 11月1日(木)～3日(土・祝)
15時受付開始、二泊三日(12時解散予定)
※東京駅から北陸新幹線+専用バスで約2時間

場所 軽井沢倶楽部 ホテル軽井沢1130
群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原1453-2 TEL 0279-86-6111

■ 定員 30名(6名5グループ)

■ 費用 ホームページに掲載(3月下旬予定)

■ 共催 特定非営利活動法人 臨床評価研究所

■ 持ち物 ノートパソコン(期間限定統計ソフトウェアをインストールします)
ACアダプター及びマウスなど(長時間の作業となります)



合宿全体の狙い

臨床研究の計画書の作成からデータマネジメント、統計解析、報告までの一連の流れを、講師やチューターの支援の下で模擬体験します。循環器領域の臨床研究を数多く実施した講師が研究デザインから統計解析までの講義と実習を一貫して担当することで、オムニバス形式の講演会では決して得られない生きた実践的な技能を得ることができます。

講師

森本 剛 (もりもと たけし)

兵庫医科大学 臨床疫学 教授

臨床医としての視点を重視した研究デザインや統計解析、論文執筆の人気は高く、全国各地で実践的な臨床研究教育を開催しています。

参加をご希望の方は日本循環器学会のホームページより
オンラインフォームにてお申し込みください。
受付開始は2018年3月下旬を予定しております。
日本循環器学会ホームページ：<http://www.j-circ.or.jp/>

申し込み締切 2018年7月31日(火)

昨年の参加者の声 ※アンケート結果より抜粋

- 今まであいまいだった統計に関する知識を、今回の合宿で整理することができました。
- 若い医局員達に紹介したいと思います。今後ともよろしく願いいたします。久しぶりに生徒になれて嬉しかったです。
- いろいろな質問に丁寧にチューターの方々が応対して下さいました。ありがとうございました。
- 今まで体系的に統計の講義を受けたことがなかったので、自分の我流の統計手法を見直すよい機会になりました。

お問い合わせ

一般社団法人日本循環器学会事務局(教育研修委員会担当)

TEL:03-5501-0861 FAX:03-5501-9855 e-mail:j-kyoken@j-circ.or.jp

第4回 臨床研究デザインと統計解析合宿

循環器領域における患者を単位とした臨床研究を科学的に実施し、報告するために最低限必要な基礎知識と技術を理解します。講義やハンズオン、グループワークを組み合わせ、実践的な知識が身につくようにプログラムが組まれています。参加者同士の交流を促進するネットワークディナーなども準備されています。

● 主なプログラム (予定) ●

11月1日[木]

1日目

(7時間)

講義「臨床研究デザイン」

科学的な臨床研究を実施するための原理原則や、臨床研究を計画する上で骨格となる研究デザインについて講義します。

昨年の参加者の声

- 臨床研究について一から学ぶ事が出来て大変良かったです。

グループワーク「臨床研究計画」

グループごとに、3日間で研究計画から解析までシミュレーションする臨床研究計画書を作成します。臨床研究の実施に必要な調査票なども作成します。

ハンズオン「統計解析ソフト導入」

統計ソフトウェアの基本的な操作法とデータの取り込みやデータの保存を、チューターの支援を受けながら実習します。

昨年の参加者の声

- 講義を聞いてよく理解できたようなつもりになっても、しばらくするとわからなくなり、プリントで復習することで理解を深めることができた。

講義「統計解析の原則・記述統計」

臨床研究で用いられる基本的な統計学の原則について、最小限の数式と実例を用いて理解し、さまざまな解析に応用可能なセンスを身につけます。

昨年の参加者の声

- 実際に手を動かすことで、短時間で理解が深まった。
- みんなで助け合いながら理解を深めていくのが良かったです。

ハンズオン「記述統計実習」

統計ソフトウェアを用い、チューターの支援を受けながら仮想データで実習します。

11月2日[金]

2日目

(11時間15分)

グループワーク「データ解析実習・図表作成」

グループごとに選択した研究テーマについて、臨床研究計画から解析、報告までの研究の流れを実体験します。仮想データを用いて、研究目的に合致した統計解析を実施し、図表を作成します。

昨年の参加者の声

- 統計ソフトをグループで同時に使用することで、小さな疑問にもすぐ対応でき、今まで分らなかった項目についての理解が深まった。

講義「現実性と科学性のトレードオフ」

臨床研究を計画、実施する際に遭遇する様々な問題について、予め勘案しておく基本的・応用的事項について理解します。

昨年の参加者の声

- 今まで全く理解できなかった論文の作りなど非常に勉強になった。

グループワーク「発表準備」

これまで準備した研究計画や解析結果を改めて吟味し、特にトレードオフの関係を勘案した実施可能性について検討します。

昨年の参加者の声

- グループ発表での講師のコメントで色々整理ができました。

11月3日[土]

3日目

(3時間)

発表と討論「研究計画書・解析結果報告」

グループ単位で研究計画及び研究実施後の解析結果を報告します。報告を基に講師と参加者が現実的な議論を行います。

昨年の参加者の声

- 講義と、実際、ディスカッションしながら、手を動かし、丁寧なフィードバックをいただくことで、抑えるべきポイントがわかりやすかったので、早速論文を読んでも、前より読むのも楽になりました。
- 再度勉強してまた受講してみたい。

ラップアップ「合宿後の実践に向けて」

今後の実際の研究実施に向けて残る必要な技能や今後の学習の課題をレビューします。